2012

少年少女里山マイスター養成講座

NPO法人徳島県森の案内人ネットワーク

はじめに……

現在の青少年育成の課題としては野外での活動や小集団での作業、五感を使うことなどが極端に不足しており、それがコミュニケーション能力の低下また体力や知力にも影響を与えていると思われます。
当法人では、小学校を対象に森林環境教育に10年程取り組んでいますが紙芝居や浸透力実験など室内での行事より野外活動の方が生徒の表情がいきいきとしていると感じていました。
そこで、身近な里山林をフィールドに、樹木の観察や秘密基地づくり、薪わりなどの作業を行うとともにいろいろな遊びを通して、里山の知識や道具を使う技術、そして楽しみ方を身につけてもらう実践的な講座を平成21年度から始めました。
このような養成講座は、今年度で４年目となりますが、「2012少年少女里山マイスター養成講座」として、平成24年10月から平成25年３月までの間に６回実施した内容をまとめました。
なお、受講生は、小学校１年生～６年生までの26名でした。

目　次

講座の開催状況 …… P1～P6
アンケート結果 …… P7～P8
感想文 …… P9～P11
アルバム …… P12～P15
受講生の内訳 …… P16
成果と今後の課題 …… P17

第１回講座

10月6日に、第１回の講座を開始しました。講座の内容は、「森の観察と伐採など」で、まずは、樹皮を触ったり、下から見上げてじっくり観察をしました。それから「ノコ」を使って伐採作業を体験。なかなか、思うようには伐採できませんでした。なお伐採した木は、次回の秘密基地づくりで、利用します。午後から木工。なかなかの作品が出来ました。（表紙の写真）

第２回講座

第２回の講座は、11 月４日「ロープワークと秘密基地づくり」。ロープワークでは基本的な結び方を学び、早速秘密基地づくりに役立てました。結び方を覚えるのは、苦労したようです。それから高さ３～４mのところまで、木登り体験。こちらは、みな上手に登りました。その後の秘密基地づくり、飾り付けなどを行い、見事に完成しました。

第３回講座

１２月２日の第３回目は、クリスマスリースとミニ門松づくりで、ドングリや松ぼっくり、赤い実などいろいろな材料を思い思いに使い、作品ができました。ミニ門松も、かわいらしいものに仕上がりました。この日は、ローソンの関係者も多数参加して、にぎやかな講座となりました。

第４回講座

１月６日の第４回の講座は、恒例の薪割りとピザ。薪割りは、①オノを使った薪割り、②薪割り機の使用、③チエーンソーの体験でした。それぞれ危険を伴うものですが、怪我もなく、無事終了できました。オノを使った薪割りが大変好評。ピザは、生地を伸ばしその上に思い切りいっぱいのトッピングをして、ドラム缶釜で焼きました。美味しくできました。

第５回講座

２月３日の第５回の講座は、「ハイキングと動植物観察」。入田山人の森をスタートして、尾根まで登り、そこから稜線を西に歩き、童学寺峠で折り返し。全員元気に完歩。道中そして午後からは香川県の曽根先生を講師とし、森の中でどんな生き物がいるのか、観察しました。特に落ち葉などを採取して、小さな生き物を発見しました。

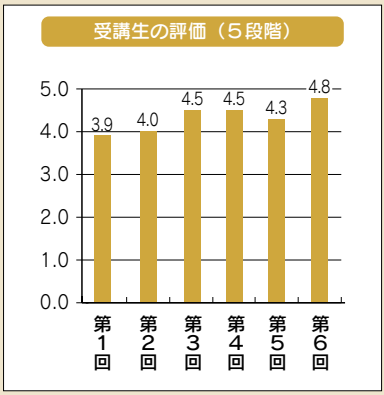
第６回講座

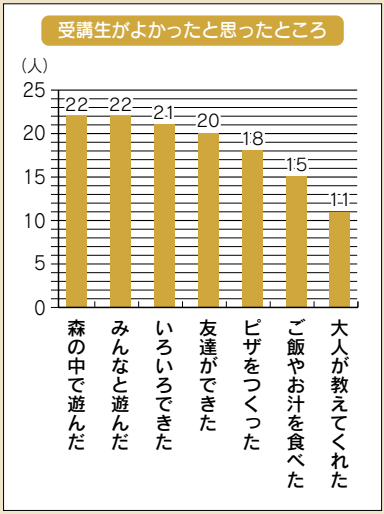
３月４日の第６回の講座は、きのこの植菌作業とバームクーヘンづくりでした。植菌作業は、原木にドリルで穴を開け、そこに駒型に成形したクリタケ菌などを打ち込みました。午後からは、バームクーヘンづくりにチャレンジ。うまく焼けました。

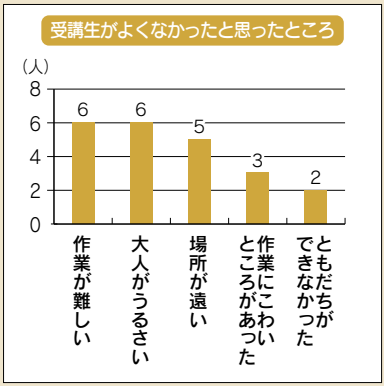
アンケート結果１

受講生（小学１～６年生）26 名のうち、24 名からアンケートの提出がありました。各講座内容の評価（５段階）としては、第２回以降は４以上で、中でも第６回のきのこ植菌と野外料理の評価が高い。
具体的にどのようなところがよかったのか聞いたところ、森の中で遊んだことが第１位で、第２位がみんなと遊んだこと、第３位がいろんなことができたことでした。

一方、良くなかったこととしては、作業が難しかったこと、大人がうるさいことをあげています。
また、これからも森の中で遊びたいと思いますか、との問いに対しては、約７割の 17 名が遊びたいと回答しています。







アンケート結果2

受講生（小学１～６年生）の保護者（24 名重複あり）からもアンケートの提出がありました。保護者は、一緒に参加されておりませんが、受講生の反応などから判断してもらいました。

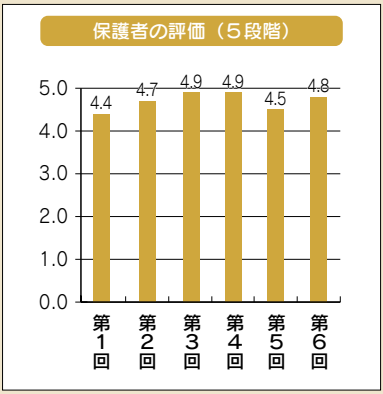
各講座内容の評価（５段階）としては、すべてほぼ４以上ですが、第３回のクリスマスリースやミニ門松の評価も高いのが受講生との違いでしょうか。

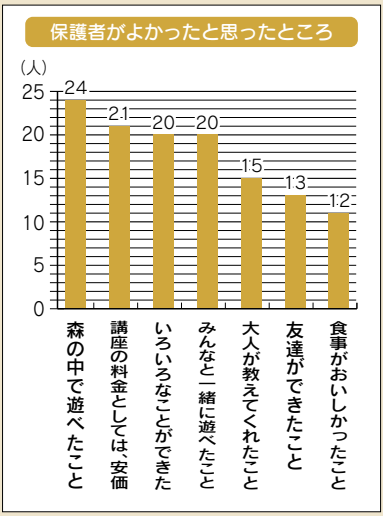
具体的にどのようなところがよかったのか聞いたところ、森の中で遊べたことが第１位で、第２位が安い講座料、第３位がいろいろなことができたことでした。

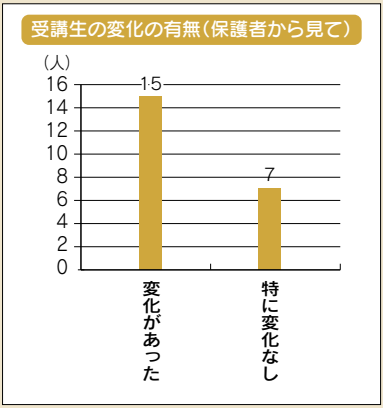
一方、良くなかったこととしては、ほとんどありませんでした。

　また、受講前と受講後に子供に変化があったかとの問いに対しては、６割強の方が変化ありとの回答で、しっかりしてきた、自然に興味を持つようになった、いきいきと話をしたなどの反応だったとのことでした。

今後もこのような講座に参加させたい、機会あれば参加させたいとの意見が、ほぼ全員の 23 名ありました。







感想文１

感想文2

感想文３（保護者）

… 受講後に変化があった。その内容は …

- いろいろなことに興味をもって聞いてくるようになった。
- 自然に対する興味の幅が広がったように思います。
- 里山で体験したことをいろいろ話してくれるようになった。
- 森の中で遊ぶのは、初めてだったけど竹や木々の中で自然たっぷりでとても行くのが楽しそうで何もかも興味をもったようでした。
- 自然や生き物に興味を持ち始めたように感じます。
- たくましくなった。
- 森の中で初めて遊びました。ピザづくりがおもしろかったそうです。楽しかったと笑顔で帰ってきました。
- 山に対して自信がついた様子だった。

… そのほかの感想 …

- 日常なかなかできない体験をさせていただけた。
- 親が知らない事も掘り下げて子どもに教えてくれたこと。
- 子どもが帰って教えてくれることが新鮮でした。
- 注意してもらえること。
- 送り迎えのとき、車の出入りがしにくい。
- 低学年の子どもにはとてもよい経験だと思います。

アルバム 1

アルバム２

アルバム３

アルバム４

講座の時間割

9:30～10:00	オリエンテーション
10:00～11:50	ハイキング
12:00～12:50	昼　食
13:00～14:30	動植物観察
14:40～15:00	ふりかえり･解散
15:00～16:00	片づけ、ミーティング

第5回ハイキング

準備運動

受講生の内訳

学年別･男女別人数

区分	学年						
	1	2	3	4	5	6	計
男	6	4	1	2	2	0	15
女	3	2	4	0	0	2	11
計	9	6	5	2	2	2	26

住所別人数（人）

区分	徳島市	石井町	藍住町
人数	24	1	1

■ 受講生は、前々回男女比が８：２だったものが、前回女子が 35% と少し増え、今回は、42% になりました。小学３年生までの低学年が 20 名と 77% を占めているのが特徴。

■ 受講生は、ほとんどが徳島市からの参加となっています。

講座の成果

受講生及び保護者の当日の反応やアンケート結果から、この講座は、今年度もまずまず好評であったと推測しています。
本講座も４年目となりましたが、子どもたちは、大半が初めてなので、反応もいろいろです。これまでと較べて、友達ができて楽しかったという感想が、幾分少なかったことが気になりました。
講座の成果としては、里山の中での遊びや作業を通じて子どもたちが本当に楽しそうにしていること、そして成長を感じたことです。
そのことは会員の活動に対する自信にもつながっています。

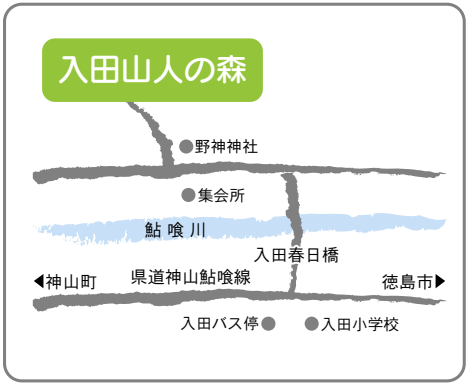
今後の課題

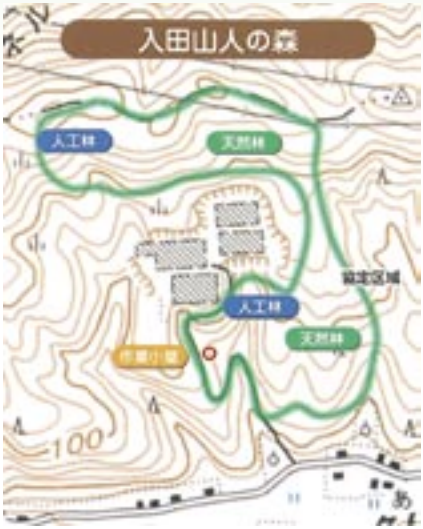
課題としては、①受講生の送り迎えの際、車の誘導が不十分だったこと。②スタッフの確保。③講座内容の充実などがあります。
今後も、しっかり打ち合わせて行いながら、より充実した講座を継続して行っていきたいと思っています。

「森の案内人ネットワーク」とは、

森林での自然観察やレクリエーションの指導、森林のしくみや
働きの学習、森づくりボランティアを行う人の仲間です。
設立のきっかけは、徳島県が開催した「森の案内人養成講座」で、
その受講生などが主なメンバーですが、
活動の主旨に賛同される方を広く募っています。

連絡先（事務局）　088－655－1566





この事業は、緑の募金を活用しています。